

聖書

聖書は、創造者なる神の「知恵、知識、真理の宝庫」

「直ぐな心で（ヨシエル）」、聖書に向かう者は多くの宝を見つけ、何よりも神に出会う

詩篇119：7、エペソ人6：5「真心から」、マタイ13：44-46

しかし、深く知ること「知識」をどれほど積んでも、信じ委ねる「信仰」には至らない

- ④聖書自体が成就を証しする真の神の預言：聖書が聖書を解釈
神の約束の確かさ、成就の確かさ（ご自身の言葉に真実な神）
- ⑤過去百パーセント成就した預言の信憑性は未来預言の確かさを約束：
近未来、遠未来預言の宝庫、聖書
- ⑥究極的に立証される神のすべての言葉：
有史以前の出来事、一天地創造、世界的大洪水— を立証する医科学、工学、考古学

2018年を回顧、2019年を展望

☆2018年は全世界がかつて経験したことのない大災害、異常気象に見舞われ、
自然界や国家、社会に、聖書が証しする「メシヤ到来を告げるしるし」の多くが現れた

☆聖書の百五十章以上が「キリストの再臨」に言及

*人類史の最後の世代に多くの情報を提示

*備えの必要

①恐れ →ルカ21：26ほか

②つまずき、裏切り、憎み合い →マタイ24：10ほか

③自墮落 →ルカ21：34ほか

④虚偽、惑わし →マタイ24：11ほか

→聖書の定義とは異なった「義、愛、平和…」が語られる

⑤背信 →テモテ第一4：1-2ほか

人類史最後の世代

☆主が預言された「しるし」のほとんどが加速度的に、全世界で見られ始めている

→マタイ24章、マルコ13章、ルカ21章

マタイ24章

☆艱難期前と艱難期中に起こること

→マタイ24：5-28

☆大艱難期後、キリストの再臨時に起こること

→マタイ24：29-31

要求される信徒の忍耐

→エレミヤ書23：20「終わりの日に、あなたがたはそれを明らかに悟る」

→ダニエル書11：33-35「民の中の賢明な者たちは、多くの人を悟らせる…」

私たちの時代

(1) 環太平洋火山帯の活性化

☆2018年末から、火山噴火と地震の関連発生が顕著に

*12月22日、インドネシア、アナク・クラカタウ山噴火と地震

*12月24日、イタリアのシチリア島、エトナ山噴火、M4.8の地震

*2018年5月、三十五年ぶりにハワイのキラウエア山大噴火、灰放出と微地震が未だ継続

イスラエルの地震

☆イスラエルには、ヨルダン溪谷の下を走る大地溝帯が走っている

☆2016年の「クネセト外務・防衛小委員会」による報告では、M7.5の地震が起きた場合、

死者は約七千人と、推定された →黙示録11：13

聖書

(2) 米国、イエローストーンで長引く「スーパー・ボルケイノウ」大噴火の前兆

- * 地下に超弩級の火山が存在
2018年6月以降、地割れ、間欠泉の異常噴出、地下で溶岩流出等、活性化
- * 2019年初頭の爆弾ニュース、「744kmの長い溶融岩上昇」
- * 大噴火が起これば数日間の暗闇、数週間に亘る火山灰の降下、米国の三分の二が居住不可に
水の汚染、960km内の住民の90%死亡、世界的な「火山の冬」の到来

(3) 陸海空の生き物の大量死

- ☆ 原因不明の大量死、数年前から世界中で報告
- * 2019年1月9日、何十万匹もの死魚、オーストラリアのダーリング川土手に打ち上げられた
- * 1月16日、オーストラリアで、二日間で二万三千匹のコウモリの死
- * 1月19日、インドネシアの養魚場で魚の大量死
- * 1月28日、アマドールとパナマ湾沿いの海域に何百万匹もの死んだ魚が漂流
- * 1月29日、再び、南オーストラリアのダーリング川流域に百万匹もの魚の死体が漂流

地球温暖化

- ☆ 2014年から2018年までの過去五年間、北極海の古い氷河95%融解
- ☆ 2018年は、地球が炎熱に覆われ、世界的に先例のない自然災害に見舞われた
- * 2019年の1月、オーストラリア史上、最も暑い月を記録
- * 1月30日、アルゼンチン、ブエノスアイレスのリニア家畜市で、百五十頭以上の牛死亡
- * 1月30日、ウルグアイで、十万羽の鶏が熱波のため死亡

地球の磁極移動

- ☆ 過去三十年間、北極はカナダ北部からシベリアに向かって毎年55km移動
- ☆ 最近の調査では、地球の磁場は、1840年以来、約16%も急速に衰退
- * ニビル到来の前兆の可能性
- * ニビル到来で、地磁気が逆転すれば、ノアの洪水前の時代の気象状態に近くなる

異常気象、一猛暑と極寒

- ☆ 1月末から2月にかけて、シカゴを中心とする米国中西部では極渦現象^{きよくか}
1月30日、ノースダコタ州で-54℃、1月31日、シカゴで-52℃を記録
- ☆ 日本でも2月9日、北海道東部の陸別町で-31.8℃を観測

(4) ニビル（仮説上の惑星）

- 民数記24：17
- * バラム、「ヤコブから一つの星」、一メシヤ到来の天文学的前触れ— に言及
- * 2018年、科学者は初めて、惑星間物体の太陽系通過を目撃

(5) かつてエジプトに起こった疫病

- ヨハネの黙示録8：6-9：21 七つのラッパの裁き

1. 雹（出エジプト記7：14-25 → 黙示録8：7）
 - * 2018年1月、イスラム教のメッカとカトリック教のローマ、ほぼ同時に大雪と氷に覆われた
 - * 2018年11月から12月初め、サウジアラビア砂漠、南アフリカ共和国スワジランド、オーストラリアで大粒（野球のボール大）の雹嵐
2. 血のように赤い川（出エジプト記9：13-35 → 黙示録8：8、16：4-5）
 - * シベリアの川、深紅に
 - * インドネシアの至るところで、原因不明の血の川現象
 - * 2018年12月29日にはマラウイ共和国で、2019年1月2日にはアフリカのデッサでも発生
3. いなご（出エジプト記10：3-20 → 黙示録9：2-11）
 - * 2019年1月11日、サウジアラビアのメッカの大モスクに、前代未聞のイナゴの大群発生

聖書

4. 暗やみ (出エジプト記10：21-29 →黙示録16：10)
 ＊2017年8月、米国で皆既日食観測、その直後、米国史上最悪、破壊的なハリケーン襲来
5. 初子の死 (出エジプト記11：4-12：36 →黙示録9：15 多くの人々の死)
 ＊今日、「DNA自己鑑定キット」使用の結果、
 子どもの20-30%がその父親自身の子ではないことが判明
 →世の中には予想以上に多くの「長子/初子」がいることを示唆
6. 火と煙の柱 出エジプト時、神が民を先導されたときの象徴的現象
 (出エジプト記13：21-22、民数記14：14 →黙示録8：8、16：4-5)
 ＊「火の柱」は、「シェキナ・グローリー (神の栄光)」、神のご臨在を象徴
 ＊2018年7月17日、米国アリゾナ州で山火事が起こったとき、「火の竜巻」現象、
 聖書的には「火と煙の柱」が、所々でみられた

(6) 血のように赤い月

→ヨエル書2：30-32

2019年1月20日

- ☆「超大、血色、狼満月」の皆既月食、米国で観測
 ☆ドナルド・トランプ大統領就任二周年記念日
 ＊トランプ氏、1946年6月14日の夜の皆既月食時、イスラエル国家樹立の七百日前に誕生
 ＊トランプ氏、2017年1月20日の大統領就任時、七十歳七ヶ月七日
 ☆この日はユダヤ暦の「シェバトの月の十五日」、「木の新年」を祝うユダヤ人の休日
 ＊昨年この休日2018年1月29日も血色の皆既月食が中東、イスラエルで観測された

2014年～2015年、四回連続の血色の皆既月食

- ☆2014年以降この1月まで、七回、イスラエルの「主の例祭」の日に重なって起こった皆既月食
 ＊ラビたち、「全ユダヤ人に対するイスラエルへの帰還」のメッセージと解釈

(7) 「聖地」に隠された宝

→申命記33：18-19、

「ゼブルン…イッサカル…海の富と、砂に隠されている宝で育まれる…」

→イザヤ書45：3

「わたしは秘められている財宝と、ひそかなところに隠された宝をあなたに与える…」

- ☆イスラエルのシェファ・ヤミム (CEO) の社長、タウブ氏、聖書の預言に基づいて、
 採鉱探査会社を十九年前に設立、ゼブルン^{けいこく}溪谷のキシオン^{かせんしき}河川敷、カルメル山脈に総力を結集
 ＊1994年に亡くなったラビ、通称レベ、「この世の創造以来隠されてきた先例のない知識と
 新しい物質資源が、メシヤの贖いが近づくにつれて発見される」と預言していた
 ＊2018年6月、ダイヤモンド七十七個ほか発見
 ＊2019年1月16日、「カルメルタザイト」、ダイヤモンドより高価なブルーサファイア発見
 ☆イスラエルで天然ガス田、油田の相次ぐ発見
 ＊2010年12月に、イスラエルの海岸沖でレビヤタン天然ガス田発見
 ＊2009年にタマル天然ガス田発見、2016年1月には三番目の大規模ガス田発見
 ＊2013年9月、イスラエルの海岸で高品質の石油発見
 ＊2019年1月31日、レビヤタンガス油田海上油田基地の敷設、生産開始の最終ステージに
 ⇨今や、イスラエルは世界最大の資源王国

(8) 背教、迫害

→テモテ第二4：3-4

- ☆今日、全世界で、少なくとも二億四千五百万人のキリスト者迫害
 ＊2019年1月16日、オープン・ドアズ、『世界迫害国リスト』を公表
 →マタイ24：9

聖書

(9) 戦争、戦争のうわさ

☆八年目に入るシリアでの闘い、「ゴグ・マゴグの戦い」に突破口を開く恐れ大

→エゼキエル書38、39章

神が約束されたイスラエルの地

☆主権者なる神はカナン之地、一南はエジプト川から北はユーフラテス川の西岸まで一をアブラハム、イサク、ヤコブの子孫、ユダヤ人に与えることを約束

→創世記15：18-21

☆神、カナン全土がユダヤ人の永遠の所有となると明言

→創世記17：8

世界中の関心を集めるエルサレム

☆エルサレムの支配を巡って、全世界がイスラエルを敵にする、と預言

→ゼカリヤ書12：2-3

(10) エルサレムの神殿の丘

☆2018年冬、ユダヤ教徒にとって、メシヤ来臨を喚起させる一連の顕著な出来事が続出

1. 神殿の丘の西壁から、大きな玉石が突然落下
2. ユダヤ教徒の戸外祈祷時、神殿の丘だけに地上から霞の立ち上り
3. 西壁「嘆きの壁」の石垣の間から唐突に、蛇が出現
4. 神殿の丘の歩道、地表面から沈下

☆2019年初頭、イスラエル当局やラビの認可次第で、神殿の丘（神域）の南西部、ダビデの町に、いつでもエルサレム第三神殿が建てられる可能性が明示された

→歴代誌第二3：1

*この記述に一致する場所は、モリヤの山の頂上に至る途中のダビデの町

(11) よみがえる死海

→エゼキエル書47：8-10

*2018年以降、死海に海の野生動物が棲息

*新鮮な水が湧き出る陥落孔の存在、数箇所で見

2019年度の展望

☆「メシヤ来臨のしるし」として聖書に預言されている現象、2018年を境に顕著になり始めた

☆2019年は、これらの現象の加速化が予測できる

☆今日、多くの人々が、先が見通せない不安、恐れから、

近視眼的な政策、手段を受け入れてしまう誘惑や、偽預言者、偽教師にたぶらかされ、究極的に偽りの平和、偽りの宗教に迎合する脅威にさらされている

☆世の終わりの虚偽の罠からの守り →最後まで、健全な「良心」堅持が必須

→テモテ第一1：18-19

☆信じる者に未来を明確に約束している神の言葉『聖書』にすべての人々が目を留めるべきとき、福音を知らない人々に「**時が良くても悪くても**」、神の国を告げ知らせるときが来ている

→テモテ第二4：2

☆神の救いの御手はすべての人々にいつも向けられており、

神は一人ひとりの応答を待っておられる